

戦 評 用 紙

平成29年度関東高等学校バスケットボール大会
埼玉県予選会

平成29年5月20日

会 場 越谷市立総合体育館

Eコート第1試合

対 戦	山村学園 高校	18	—	10	正智深谷 高校
	74	20	—	14	59
		24	—	12	
		12	—	23	

準決勝、関東大会代表を決め、新人大会優勝の王者山村学園に対して、ルーキーの活躍など、新戦力でノーシードから勝ち上がってきた正智深谷との戦い。

第1P 両チームハーフコートマンツーマンディフェンスで始まる。正智深谷#11のジャンプシュートで始まり、山村学園は#5のジャンプシュートで返す。お互い1対1を仕掛けるが、オフェンスリバウンドを取る山村学園が#4#8のゴール下で得点する。5分で6-6の同点から正智深谷のルーキー#13の個人技が光り、速攻とアシストでリードする。しかし、両チームとも果敢にドライブインした結果のフリースローの確率が明暗を分け、決めた山村学園が徐々にリードし、18-10で終了。

第2P 正智深谷はルーキーたちが良く走り、#8の速攻で先制するが、山村学園にリバウンドを奪われ、#4#11にゴール下で連続得点される。点差が10点になったところで正智深谷のタイムアウト。タイムアウト後も同じように山村学園#4#11にゴール下で決められ、ミスが出たところで残り5分2回目のタイムアウト。正智深谷はルーキーの#8が連続でドライブインを決め、ゴール下の#7に絶妙のバウンズパスでアシストするなど活躍を見せる。山村学園はゴール下で頑張り、点差をキープする。38-24山村学園リードで前半終了。

第3P 勝負を分けたのがこのピリオドで、山村学園は#4#6#8のピックマンがゴール下によく跳びこみ、リバウンド、合わせでバスケットカウントを4連続で決める。その間正智深谷はファウルトラブルもあり、リズムに乗れずにシュートも単発もしくはフリースローで繋ぐが、点差は離れていく。62-36山村学園リードで終了。

第4P 26点差で迎えた最終ピリオド。山村学園はメンバーをガード以外入れ替え、ゲームを締めようとする。正智深谷も早い展開から追いかけてようとするが、山村学園#11のゴール下で点差をキープする。残り5分からベンチメンバーでオールコートでプレッシャーをかけ、両チームとも早い展開でゲームが進む。正智深谷は#8#7がインターセプトから速攻で点差を詰めようとするが、セーフティリードを保った山村学園が74-59で勝利し、決勝に進んだ。

(記録者： 草加西高校 伊澤 暁)